



意欲と創造にあふれ、地域に開かれた学校を目指して

副校長 佐藤 公喜

子どもは家庭で愛され、学校で学び、地域で育つと言われているが、子どもたちを取り巻く環境は多様化しており、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たし、豊かな人間性をはぐくむことが強く求められている。学校においては、日々の教育活動を通して創造的な活力を生み出すことが、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ上で重要である。そして、そのためには、子ども一人一人を大切にしている教師がいて、信頼しあえる友だちがいて、楽しく授業に参加できる環境が必要である。

今年度は、「子どもと子ども」「子どもと教師」「学校と家庭」「学校と地域」の信頼の絆を基盤に、それぞれの学級に受容・共感的な雰囲気があり、子どもが自分自身をかけがえのない存在であると感じ、やればできるという成就感や達成感、可能性が最大限発揮できるような学校を創造したいと考える。変化の激しい時代であるが、教育の今日的課題や社会の要請、附属学校の使命と存在意義を踏まえて、本校の教育目標である「自律」の具現化を目指し学校運営に当たりたい。

1 経営の基本方針

- 1 思いやりの心、感謝の気持ちを体得する機会を多く設定し、豊かな心で主体的に生きようとする子どもの育成に努める。
- 2 体力づくり、健康・安全教育、食育の充実を図り、たくましい心と体をもった子どもの育成に努める。
- 3 一人一人の子どもに学力の定着を図るために、個に應じ個を伸ばすための授業の充実を努める。

子どもの心に寄り添い 心に響く教育を目指す学校

- 健康で安全な学校生活の充実に努める。
- 家庭や地域との連携を密にして、共感的な人間関係に裏打ちされた心の通う生徒指導を実行する。

環境の整った保戸野キャンパスで
全人的な教育を目指す

かかわり合いを大事にして 豊かな学びをはぐくむ学校

- 豊かな学びを具現化するために、かかわり合いの場の創造や言語に着目した授業を目指す。
- 教師の専門性を生かした学習指導を実践する。

秋田大学教育文化学部の附属学校

- 本校には附属学校としての使命がある。
- 大学の学部と協力して学生の教育実習の充実を目指し、その指導に当たる。
 - 日々の実践研究に努め、公開研究協議会やオープン研修会等を実施して、秋田県教育の先導的な役割を果たす。

学部教員や附属学校間の連携

- 大学教員と研究テーマを共有して共同研究の体制を整え、人物・物的資源の活用を図る。研究成果を地域に発信して教育向上に資する。
- 附属四校園が積極的に交流し、情報交換や組織的な連携に努める。



学校教育目標

のびのび

わくわく

徳：共生

自律

知：創造

体：自立

きびきび

研究主題：かかわり合いが育む豊かな学び



目指す子ども像

〈共生〉をささえる子どもの姿

☆ 思いやりの心を持ち，互いのよさを認め合って高まろうとする子ども

☆ 自分で判断して，正しい行動をつらぬく子ども

〈自立〉につながる子どもの姿

☆ 学校生活を楽しみ，心身共に健康で生き生きと活動する子ども

☆ 自分なりの目標を持ち，最後まであきらめず努力する子ども

〈創造〉をうみだす子どもの姿

☆ 学ぶ楽しさを見出し，よりよいものを求めて工夫する子ども

☆ 自分の可能性を信じ，チャレンジする子ども



経営の基本姿勢

○ 一人一人の職員が学校づくりの主体者としての自覚を持ち，教育目標の具現化に努める。

学校におけるすべての教育活動は，学校の教育目標の具現化を目指して行われている。学校は，子どもの「学びと成長の場」である。どの子どもにも内在する「成長する力」を引き出し，よりよい方向に伸ばすことがプロの教師としての責務である。このことを深く自覚し，教育目標の具現化を目指して努力を続ける。

○ 専門職としての自覚を持ち，研修に励み，授業力の向上に努める。

教育効果は，教師の資質や能力に負うところが大きい。自己研修や校内外の研修で研鑽を積み，資質の向上に努めなければならない。「分かる授業」の創造に努め，お互いの学び合いや切磋琢磨のある教師集団でありたい。

○ 保護者や地域の人々の願いをもとに，開かれた学校づくりに努める。

本校は保護者の期待の大きい学校である。また，児童は広域から通学しており，校区を基盤とする公立学校とは異なる側面をもっている。しかし，学校が保戸野原の町にあることはまぎれもない事実である。学校に対する地域の要請，保護者の多様化等を鋭敏に受け止め，発想を新たにして教育活動を工夫するとともに力を結集して取り組み，教育力の高い学校を創る。また，学校外のリソースを積極的に活用して，教育内容の充実を図るとともに，保護者との連携・協力を密にして，信頼される学校を創る。

3 経営の重点及び具体的施策

(1) 「豊かな心」をはぐくむ教育の推進

- 子ども一人一人の個性とよさを認め、心の居場所となる学級経営の充実
- 共に考え、学び合う道徳の時間の構築
- 児童の発意、発想を生かした学級活動の展開
- コミュニケーション能力を高める場づくりの工夫
- 心を豊かにする読書活動の奨励
(いちょう図書館、読書コーナー、読書タイム)
- 異年齢集団を生かした自立活動の促進
(愛校活動、お誕生日給食会等)
- 視野を広げ、人の生き方に触れる体験活動の推進



(2) 共感的理解を基盤とした生徒指導と健康・安全教育の充実

- 共感的な人間関係に裏打ちされた、心の通う生徒指導の推進
- 家庭や地域との連携を密にした生徒指導の推進
- 教育相談の充実(夏期休業中の個人面談の実施、希望者とは随時)
- 基本的な生活習慣の確立
- 体力づくりの推進
- 養護教諭の専門性を生かした指導の充実
- 食育プロジェクトの推進(日常的な給食指導での実践、栄養教諭とのTTによる指導の工夫)
- 交通安全・防犯・防災に係る安全教育、安全指導の充実(登下校指導、PTAによるバスの乗車指導、防災計画の見直し及び月ごとの防犯・防災訓練の実施、警備員の配置、メール配信システムの活用等)

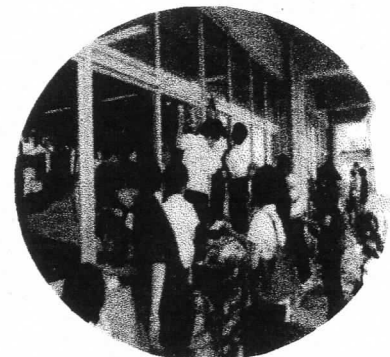


(3) 確かな学力を育てる学習指導の充実

- 一人一人を生かす授業の充実と確かな学びの保障
- 認め合い、学び合いを促す学習の場づくり
- 計画と実践に基づいた指導と評価の一体化
- 教師の専門性を生かした学習指導(専科制、交換授業)
- 幼・小連携、小・中・特連携プロジェクトの推進(交流活動、相互乗り入れ授業)
- 公開研究協議会やオープン研修会、部内授業研究会による研鑽と実践の発信
- 大学教員との共同研究体制の推進

(4) 豊かななかかりの中で育む特別支援教育の推進

- 校内支援体制の充実(「ひまわり委員会」による推進、特別支援コーディネーターの複数指名)
- 外部関係機関との連携
(附属特別支援学校や大学、専門機関との連携)



(5) 家庭との連携の強化

- 基本的な生活習慣や道徳性の育成
- 学校教育へのボランティア参加の啓発
(図書ボランティア、グリーンボランティア)
- PTA活動の充実(学年ごとの親子活動の奨励、環境整備へのサポート)